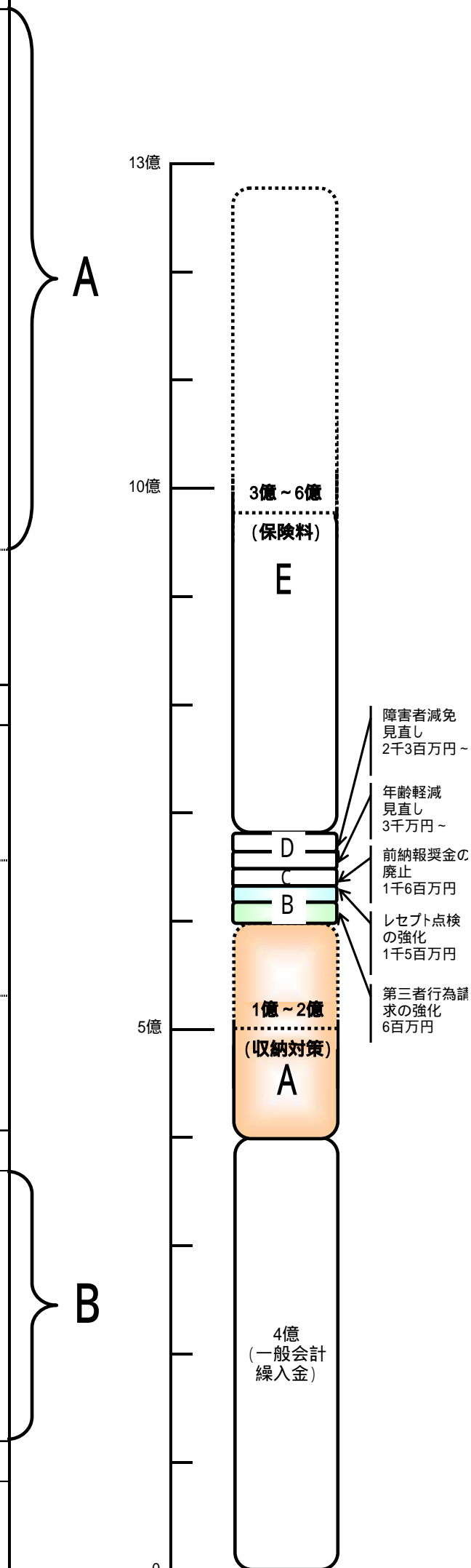


【協議項目一覧表】

保険者としての市の取り組み			
項目	効果(額)など	1人当たり 保険料影響額	方針
1 収納対策..... A			
(仮称)収納対策緊急プランを策定し、収納対策を推進する			
・現年度収納率を95%以上確保する	【93%時】 1億円 【95%時】 1億8千万円	(約2,900円) (約5,000円)	
・過年度収納率を30%以上確保する	1千万円	(約290円)	
・調整交付金のペナルティを回避する	1千3百万円	(約370円)	
イ 事務改善を推進する	被保険者証の更新期間(1年)の見直しを検討する。		
2 納付利便性向上			
口座振替勧奨を強化し、 ア 口座振替利用率を5割以上に増やす			
イ 口座振替報奨金をのキャンペーンを実施する			
ウ コンビニやクレジットでの収納を検討する			
3 点検業務の強化(第三者行為請求・レセプト点検)..... B			
ア 内容及び保険給付の確認を強化する	6百万円	(約170円)	
イ 資格過誤、過誤調整を強化する	1千5百万円	(約430円)	
4 広報・啓発			
ア 特定健診の受診勧奨を行う	平成25年度の後期高齢者支援金の抛出に係るペナルティを回避する		
イ 健康維持に関するPRを強化し、被保険者の健康の維持・増進と医療費の抑制を図る			



市独自制度															
項目	効果(額)など	1人当たり 保険料影響額	方針												
1 保険料の納付..... C															
ア 暫定賦課の廃止	《1千1百万円(内部効果のみ)》														
前納報奨金の廃止	1千6百万円	(約460円)													
2 年齢軽減・障害者減免..... D															
年齢軽減の対象年齢の見直し	3千万円～	(約860円～)													
年齢軽減の多子に配慮した方式の導入	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>22歳以下</th> <th>18歳以下</th> <th>15歳以下</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>多子に配慮した方式 対象年齢の見直し分</td> <td>40百万</td> <td>31百万</td> <td>27百万</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>40百万</td> <td>60百万</td> <td>71百万</td> </tr> </tbody> </table>			22歳以下	18歳以下	15歳以下	多子に配慮した方式 対象年齢の見直し分	40百万	31百万	27百万	計	40百万	60百万	71百万	
	22歳以下	18歳以下		15歳以下											
多子に配慮した方式 対象年齢の見直し分	40百万	31百万	27百万												
計	40百万	60百万	71百万												
障害者減免の対象所得及び減免率の見直し	2千3百万円～	(約660円～)													
3 保険料の計算・二段階料率..... E															
保険料率の条例での固定を廃止し、歳出に応じた保険料計算を行う	・3億円アップの場合	(+約1万円)													
二段階となっている所得割料率を見直し、国保法に基づく料率体系とする	・6億円アップの場合	(+約2万円)													
4 保健事業															
人間ドック補助	補助経費 2千2百万円 保険料から2/3を支出	(約420円)													
肺がん検診	補助経費 3百万円 保険料から2/3を支出	(約60円)													
乳がん検診	補助経費 4万円 保険料から2/3を支出	(約0.7円)													
学童う歯対策	補助経費 6百万円 保険料から2/3を支出	(約110円)													
その他															

